



CHAPTER 47

発呼側トランスフォーメーションパターンの設定

発呼側トランスフォーメーションパターンを検索、追加、更新、コピー、または削除するには、次のトピックを参照してください。

- 「[発呼側トランスフォーメーションパターンの設定値](#)」(P.47-1)
- 「[関連項目](#)」(P.47-5)

発呼側トランスフォーメーションパターンの設定値

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[コールルーティング (Call Routing)] > [トランスフォーメーションパターン (Transformation Pattern)] > [発呼側トランスフォーメーションパターン (Calling Party Transformation Pattern)] メニューパスを使用して、発呼側トランスフォーメーションパターンを設定します。

[発呼側トランスフォーメーションパターン (Calling Party Transformation Pattern)] ウィンドウのパラメータは、宛先デバイスの発呼側トランスフォーメーションコーリングサーチスペースを使用して、適切な発信者情報を提供します。トランスフォーメーションパターンを使用するコールはルーティングできないことに注意してください。このパターンと一致した場合、コールはデバイスにルーティングされません。

発呼側トランスフォーメーションパターンは発呼側標準化機能で使用します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「[発信側の正規化](#)」を参照してください。



(注)

ローカルルートグループ機能が設定されている場合の発呼側トランスフォーメーションパターンおよびその使用方法と設定については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「[ローカルルートグループ](#)」の章を参照してください。

GUI の使用方法

Cisco Unified Communications Manager の管理の Graphical User Interface (GUI; グラフィカルユーザインターフェイス) を使用してレコードを検索、削除、設定、またはコピーする方法については、「[Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションでの操作](#)」(P.1-13) およびそのサブセクションを参照してください。GUI の使用方法とボタンおよびアイコンの機能の詳細が説明されています。

設定値表

表 47-1 では、発呼側トランスフォーメーションパターンの設定値について説明します。関連する手順については、「関連項目」(P.47-5) を参照してください。

表 47-1 発呼側トランスフォーメーションパターンの設定値

フィールド	説明
[パターン定義 (Pattern Definition)]	
[パターン (Pattern)]	<p>数字とワイルドカード (スペースを使用しない) を含むトランスフォーメーションパターンを入力します。たとえば、NANP では、通常のローカルアクセスの場合は 9.@ を、通常のプライベート ネットワーク番号計画の場合は 8XXX を入力します。大文字の A、B、C、D、および ¥+ を指定できます。¥+ は、国際的なエスケープ文字 + を表します。</p> <p>(注) パターンが固有のものであることを確認してください。重複エントリを示すエラーが表示された場合は、トランスフォーメーションパターン、ルートパターン、トランスレーションパターン、電話番号、コールパーク番号、コールピックアップ番号、メッセージ受信のオン/オフ、またはミーティング番号をチェックしてください。また、必要に応じてルートプランレポートもチェックしてください。</p> <p>ワイルドカードの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「ルートパターンとハンドパイロット内のワイルドカードと特殊文字」を参照してください。</p>
[パーティション (Partition)]	<p>パーティションを使用してトランスフォーメーションパターンへのアクセスを制限する場合は、ドロップダウンリストボックスから適切なパーティションを選択します。パーティションの使用の詳細については、「パーティションの設定」(P.40-1) を参照してください。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウンリストボックスで表示するパーティションの数を設定することができます。Max List Box Items エンタープライズパラメータで指定した数よりも多くのパーティションが存在する場合、ドロップダウンリストボックスの横に [検索 (Find)] ボタンが表示されます。[検索 (Find)] ボタンをクリックして、[パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウを表示します。「パーティションの検索 (パーティションが多数ある場合)」(P.40-4) の手順に従って、パーティション名を検索し、選択します。</p> <p>(注) トランスフォーメーションパターンは、ルートパターンや電話番号などのダイヤルパターンとは別の非ヌルパーティションに設定してください。トランスフォーメーションパターンを検索するとき、Cisco Unified Communications Manager はヌルパーティションのパターンを無視します。</p> <p>(注) リストボックスの最大項目を設定するには、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p> <p>(注) パターン、ルートフィルタ、およびパーティションの組み合わせが、Cisco Unified Communications Manager クラスタ内で固有であることを確認してください。</p>
[説明 (Description)]	トランスフォーメーションパターンの説明を入力します。

表 47-1 発呼側トランスフォーメーション パターンの設定値 (続き)

フィールド	説明
[番号計画 (Numbering Plan)]	番号計画を選択します。
[ルートフィルタ (Route Filter)]	<p>トランスフォーメーションパターンにワイルドカード @ が含まれている場合は、ルートフィルタを選択できます。オプションでルートフィルタを選択すると、所定の番号パターンが制限されます。</p> <p>表示されるルートフィルタは、[番号計画 (Numbering Plan)] ドロップダウンリストボックスで選択する番号計画によって異なります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウンリストボックスで表示する項目数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズパラメータで指定した数よりも多くのルートフィルタが存在する場合、ドロップダウンリストボックスの横に [検索 (Find)] ボタンが表示されます。[検索 (Find)] ボタンをクリックして、[ルートフィルタの検索と一覧表示 (Find and List Route Filters)] ウィンドウを表示します。「ルートフィルタの設定値」(P.30-1) に従って、ルートフィルタ名を検索し、選択します。</p> <p>(注) リストボックスの最大項目を設定するには、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[緊急優先 (Urgent Priority)]	Cisco Unified Communications Manager は、[緊急優先 (Urgent Priority)] を指定してすべての発呼側トランスフォーメーションパターンを設定します。パターンの優先順位は変更できません。
[発呼側トランスフォーメーション (Calling Party Transformations)]	
[発呼側の外線電話番号マスクを使用 (Use Calling Party's External Phone Number Mask)]	発信コールで完全な外線電話番号を Calling Line Identification (CLID; 発呼者回線 ID) に使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。また、すべての電話機で外線電話番号マスクを設定することもできます。
[番号削除の命令 (Discard Digit Instructions)]	この発呼側トランスフォーメーションパターンに関連付ける数字破棄命令を選択します。表示される数字破棄命令は、[番号計画 (Numbering Plan)] ドロップダウンリストボックスで選択する番号計画によって異なります。
[発呼側トランスフォーメーションマスク (Calling Party Transform Mask)]	<p>トランスフォーメーションマスク値を入力します。NANP の有効な入力値は、0 ~ 9 の数字、ワイルドカード文字 X、アスタリスク (*)、シャープ (#)、および国際的なエスケープ文字 + です。</p> <p>[番号削除の命令 (Discard Digit Instructions)] フィールドがブランク、[プレフィックス番号 (Prefix Digits、発信コール)] フィールドがブランク、[発呼側トランスフォーメーションマスク (Calling Party Transformation Mask)] フィールドがブランク、および [発呼側の外線電話番号マスクを使用 (Use Calling Party's External Phone Number Mask)] がオフの場合、発呼側トランスフォーメーションは行われません。</p>
[プレフィックス番号 (Prefix Digits、発信コール)]	<p>[プレフィックス番号 (Prefix Digits、発信コール)] フィールドに、プレフィックス番号を入力します。NANP の有効な入力値は、0 ~ 9 の数字、ワイルドカード文字、アスタリスク (*)、シャープ (#)、および国際的なエスケープ文字 + です。</p> <p>(注) 付加されたプレフィックス番号は、割り当てられたデバイスにルート指定される電話番号に影響を与えません。</p>

表 47-1 発呼側トランスフォーメーションパターンの設定値 (続き)

フィールド	説明
[発呼者回線 ID の表示 (Calling Line ID Presentation)]	<p>Cisco Unified Communications Manager は補助的なサービスとして、発呼者回線 ID の表示 (CLIP/CLIR) を使用します。これは、コールごとに発信者の電話番号を許可、または制限します。</p> <p>このルートパターンに対して、Cisco Unified Communications Manager が発信側電話番号を着信側の番号表示画面で表示するかどうかを選択します。</p> <p>発呼者回線 ID の表示を変更しない場合は、[デフォルト (Default)] を選択します。Cisco Unified Communications Manager で発信側の電話番号が表示されるようになる場合は、[許可 (Allowed)] を選択します。Cisco Unified Communications Manager が発信側の電話番号を表示しないようにする場合は、[非許可 (Restricted)] を選択します。</p>
[発呼側番号タイプ (Calling Party Number Type)]	<p>発信側電話番号の番号タイプの形式を選択します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager は、発信側電話番号 (DN) のタイプを設定します。ダイヤルプラン (たとえば、NANP やヨーロッパのダイヤルプラン) について十分な経験がある場合を除いて、デフォルト値を変更しないようにお勧めします。Cisco Unified Communications Manager は、ヨーロッパの国別ダイヤルパターンを認識しないので、ヨーロッパでは、デフォルト値の変更が必要になる場合があります。この設定値は、発信側電話番号が国別以外の番号計画に符号化されることを期待する PBX (Private Branch Exchange; 構内交換機) への接続時にも変更できます。</p> <p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Cisco Unified Communications Manager] : Cisco Unified Communications Manager が電話番号のタイプを設定する場合に使用します。 • [不明 (Unknown)] : ダイヤリングプランが不明の場合に使用します。 • [国内 (National)] : 使用国のダイヤリングプランの地域内でダイヤルする場合に使用します。 • [国際 (International)] : 使用国のダイヤリングプラン以外の地域でダイヤルする場合に使用します。 • [加入者 (Subscriber)] : 短縮登録者番号を使用して登録者にダイヤルしている場合に使用します。

表 47-1 発呼側トランスフォーメーション パターンの設定値 (続き)

フィールド	説明
[発呼側番号計画 (Calling Party Numbering Plan)]	<p>発信側電話番号の番号計画の形式を選択します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager は、発信側 DN の番号計画を設定します。ダイヤルプラン (たとえば、NANP やヨーロッパのダイヤルプラン) について十分な経験がある場合を除いて、デフォルト値を変更しないようにお勧めします。Cisco Unified Communications Manager は、ヨーロッパの国別ダイヤルパターンを認識しないので、ヨーロッパでは、デフォルト値の変更が必要になる場合があります。また、国別タイプ以外の番号として、ルーティングを使用して PBX に接続する場合も、この設定値を変更できます。</p> <p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Cisco Unified Communications Manager] : Cisco Unified Communications Manager が電話番号内の番号計画を設定する場合に使用します。 • [ISDN] : 使用国のダイヤリングプラン以外の地域でダイヤルする場合に使用します。 • [国内標準 (National Standard)] : 使用国のダイヤリングプランの地域内でダイヤルする場合に使用します。 • [非通知 (Private)] : プライベート ネットワーク内でダイヤルする場合に使用します。 • [不明 (Unknown)] : ダイヤリングプランが不明の場合に使用します。

追加情報

「関連項目」(P.47-5) を参照してください。

関連項目

- 「発呼側トランスフォーメーション パターンの設定」(P.47-1)
- 「発呼側トランスフォーメーション パターンの設定値」(P.47-1)
- 「ルート フィルタの設定値」(P.30-1)
- 「パーティションの設定」(P.40-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「発信側番号トランスフォーメーション設定値」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「ルート パターンとハント パイロット内のワイルドカードと特殊文字」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「発信側の正規化」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「ローカル ルート グループ」

